

小笠原流

煎茶道をはじめませんか？

みなさまこんにちは。

皆様は茶道と聞いて何を想像されますか？

多くの方はお抹茶を思い浮かべるかもしれませんが、本来、日本の茶道には抹茶道と煎茶道があります。抹茶道は粉末茶を使用し、濃茶・薄茶などがあります。

一方、煎茶道は茶葉そのものを使用し、お点前には玉露、煎茶、焙じ茶、香煎茶などがあります。

小笠原流煎茶道は鎌倉時代から伝わる小笠原流礼儀作法から成り立った流派です。

伝統を守りながら時代に相応した作法を取り入れて現代に至っています。

癒しや心の絆が求められている現代だからこそ、お稽古では心のゆとりと、人を思いやる大切さを学んでいきます。時代が変わっても人としての心を忘れずに豊かな心になりたいものです。

お煎茶のお稽古は日常生活にも役立ち、社会人として必要な作法も身につきます。

老若男女が同門として四季のお茶会やイベントに参加され、楽しんでお稽古をされています。川西教室では夫婦でお教えしますので家庭的な雰囲気でお学べます。

体験レッスンもありますのでお気軽にご利用ください。着物の着付けも指導します。

ぜひ、お茶とお菓子で楽しくご一緒にはじめませんか？

川西教室お稽古場

1. 明峰公民館(茶室)
2. 自宅(立礼稽古)

詳しくは下記にお問い合わせください

<自宅> 〒666-0007

川西市鶯が丘 22-9

岡田 八郎(秀官) 公益財団法人 小笠原流煎茶道教授
(川西支部長・関西総支部長)

岡田 久美子(翠美) 公益財団法人 小笠原流煎茶道教授

Tel&Fax 072-757-0859

携帯電話 090-9284-4859

E-Mail 860-okada@jttk.zag.ne.jp